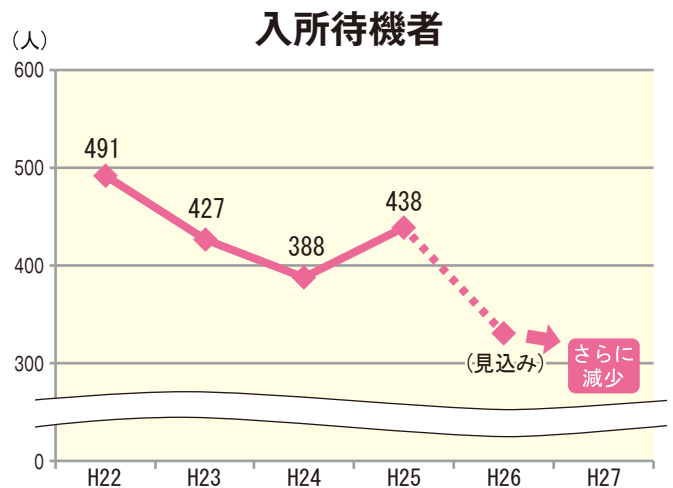
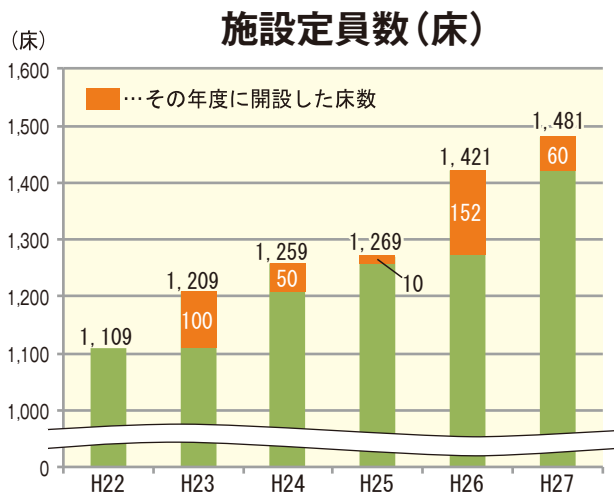


# 特別養護老人ホーム待機者解消に向けて

## 特別養護老人ホームの施設定員数と入所待機者



### その他の整備

特別養護老人ホームだけでなく、機能訓練や日常的介護を受けながら家庭への復帰を目指した介護老人保健施設(平成27年度に80床)や、有料老人ホーム等で日常生活の支援などが受けられる特定施設入居者生活介護(平成26年度に120床、平成27年度に60床)を整備し、本人に合った施設や住まいのニーズに対応して、待機者の削減にもつなげてきました。

平成22年9月に491人だった入所待機者は、毎年施設を整備することで減少しています。



### 整備の検討課題

平成26年4月に行ったアンケート結果では、介護サービスを使いながら自宅で生活したいと考えてはいるものの、介護してくれる家族の負担などを理由に、特別養護老人ホームを中心とした施設入所のニーズは高く、今後も入所待機者の増加が予測されます。

一方、施設サービスは在宅サービスに比べて保険料に与える影響が大きく、アンケート調査では、これ以上の保険料の増額は抑えることを望む声も多い状況です。

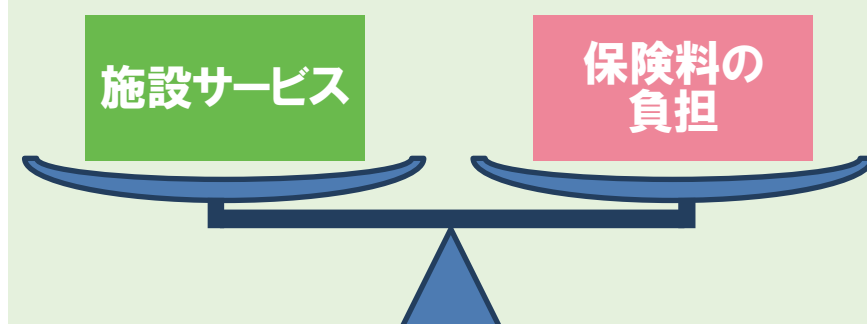
施設サービスを必要とする人が適切に利用できるよう、待機者の状況や介護保険料への影響などを総合的に勘案し、今後120床の整備を予定しています。



### 今後の整備予定数

開設年度	H28	H29	H30
整備床数	60	—	60

### 施設サービスと保険料負担のバランス



必要としている人へ必要なサービスが行き届くよう、整備と負担のバランスを取っていきます。

